

GAME PREVIEW
2007年度 第31回
総理大臣杯 全日本大学サッカートーナメント

2 回戦

鶴見緑地球技場

第1 試合 (15:40 キックオフ)

新潟経営大学 VS 静岡産業大学

(北信越代表)

(東海第1代表)

PK戦の末に筑波大を破り、2 度目の総理大臣杯出場で初勝利を挙げた新潟経営大。杉山学監督は「創部 6 年目で新しい歴史をつくることが出来た」と喜びを表すと同時に、「この勝利に酔いしれることなく、気持ちを切り替えて、一戦一戦全力で臨む」と気を引き締める。

1 回戦では、2 点は失ったものの、ユニバーシアード日本代表に選ばれた GK 東口順昭 (3 年) を中心に持ち味である堅守を随所で見せた。東口は PK 戦で 2 本をセーブし、その実力を発揮。2 回戦でも好守が期待できそうだ。

攻撃は、エース飯塚亮 (3 年・FW) に得点が無かったが、杉山監督が「全国の舞台でどれくらい出来るか楽しみ」と話していた林慶之 (2 年・FW) がゴールを決めた。豊富な運動量がチームに勢いをもたらす。

一方、静岡産業大は桃山学院大を退け、3 年ぶりに初戦を突破した。PK での失点はあったが、こちらもありベロの秋葉信秀 (4 年) を軸とした守備陣に安定感がある。成島徹監督は「それほど失点するチームじゃない」と手応えをつかんでおり、堅守対決となるか。

課題とされていた攻撃でも、井畑翔太郎 (3 年)、伊賀貴一 (4 年) の 2 トップが 3 得点と結果を出した。中盤との連携もよく、前線からプレッシャーをかけて高い位置でボールを奪うことが出来れば、2 回戦でも得点機が訪れるはず。

「イージーミスがいくつかあったが、プラン通りの試合運びだった。選手も自信がついたと思う」と成島監督。互いに守備に自信を持つだけに、ベスト 4 への戦いは先取点がカギを握る。

(文：読売新聞大阪運動部 藤田 真則)

全チーム・選手の全てがこの一冊に掲載！

大会公式プログラム 1部 1000円

ミカサ携帯ストラップも同時発売中！ 1本 500円

大会公式プログラムとストラップ、セットで購入すると

1400円のお買い得！ ぜひ購入下さい！

☆☆お楽しみ抽選を開催！！☆☆

2 試合目ハーフタイムに発表する当選番号ですばらしい景品をプレゼント！！

マンダム・ミカサより提供

第2試合 (18:00 キックオフ)

福岡大学 VS 東京学芸大学

(九州代表)

(関東第5代表)

昨年の準決勝と同じ顔合わせとなった。福岡大は1回戦で高知大に辛勝ながら、無失点で勝利したのはさすが。準優勝した昨年同様に堅守で勝ち進むか。とはいえ、課題が多く見られたのも確か。初戦ということもあり、選手に硬さが見られ、連携がうまく行かずに押し込まれる場面も少なくなかった。それでも、集中力を切らさなかったことが勝利につながった。本来の動きが戻ればピンチはもっと少なくなる。GK河田晃兵(2年)の安定したセーブは心強い。

エースの西野諒(4年・FW)は、九州地区予選から5試合連続得点となったが、PKでの1点にとどまり、2回戦では奮起が期待される。「目指すは日本一」と話す乾真寛監督の下、1回戦で出た課題がどれだけ修正できたかによって試合内容は大きく変わるだろう。

東京学芸大は大阪体育大との接戦を制して勝ち上がった。檜山康監督は「常に1点差の試合をしてきたので、対処の仕方は分かっていた」と話すが、後半は防戦一方になる時間帯があるなど、試合運びにやや不安も残った。しかし、攻められながらも無失点に抑えて、選手は確実に手応えを感じたはずだ。

攻撃では、起点となるボランチの瀬田貴仁(4年)が両サイドへバランスよくボールを配球し、再三好機を演出。右サイドバックの林俊介(4年)も積極的にオーバーラップを試みた。1回戦でやや動きの鈍かった酒井圭祐(4年・MF)が復調すれば、得点機はもっと増える。「昨年負けているだけにモチベーションはつくりやすい。今年は負けないという思いがある」と檜山監督。

昨年は1-0で福岡大が競り勝った。今年はどちらに勝利の女神が微笑むか。

(文：読売新聞大阪運動部 藤田 真則)

是非お得な前売券を今のうちにお買い求めください！
準決勝(5日)決勝(7日)は有料試合です。

前売券

大人 800円
中高生 300円

試合会場及びチケットぴあにて絶賛発売中！！

是非この機会にご購入ください！！

※なおチケットぴあで購入される方は
直接チケットぴあまで！！電話番号⇒0570-02-9999

☆Pコードは⇒680-643是非ご利用ください☆

神戸総合運動公園ユニバー記念陸上競技場

第1試合 (15:40 キックオフ)

近畿大学 VS 法政大学

(関西第2代表)

(関東第3代表)

2度目の出場で初勝利を挙げた近畿大は、主将のMF馬場賢治(4年)の出来がカギを握る。愛知学院大戦では、中盤の高い位置から左右の前線に絶妙のパスを配給。77分のゴールは、GKの頭越しに鮮やかなループシュートを決めた。

5-3という激しい点の取り合いが示すように、課題は守備面か。連係を欠いたプレーからピンチを迎える場面があり、「もう一度コミュニケーションをきっちりさせたい」と田中幸雄監督も法政大戦までのチェックポイントに挙げた。

昨年の大学選手権でも顔を合わせた法政大-仙台大は、法政大が5-0で快勝した。徐々にセカンドボールを支配しだした法政大がリズムをつかみ、中盤でも主導権を握った。「前半は中盤が間延びしていたが、後半には修正できで得点機も多く作ることができた」と法政大、照井博康監督。前半こそ1得点だったが、後半は一気に4点。61分には高い位置でのボール奪取からMF菊岡拓朗(4年)が2点目を奪うと、3分後にはMF永露大輔(2年)が追加点を決めた。

照井監督は「5得点したので気持ちよく準々決勝を迎えられる」と言う。3度優勝の経験があるが、1982年以来、遠ざかっている。「久しぶりの優勝を狙っている。サイドに振ってからミスでボールを失う場面があったので注意したい」と気を引き締める。

近畿大は守備面がしっかりしないと、ボランチを務める馬場がディフェンスに引っ張られて攻撃で持ち味を出し切れなくなる。守備の連係を深めれば、近畿大も勝機が見えてくるはずだ。

(文:読売新聞大阪運動部 河村 真司)

第2試合 (18:00 キックオフ)

流通経済大学 VS 神奈川大学

(関東第1代表)

(関東第4代表)

流通経済大は初戦、DF鎌田次郎(4年)、MF平木良樹(3年)ら主力を温存しながら広島修道大に6-0で圧勝。関東大学リーグ前期1位の実力を見せつけた。「4試合とも高いレベルで戦うために初戦は休ませた」と中野雄二監督。「選手の持ち味にあわせたサッカー」を指向しながら、チームとしての意思統一にも乱れがなく、ポジショニングに優れ、速いサッカーを展開した。

前半の2点をFW沢口泉(3年)が決めた後、後半の4得点はいずれも違う選手が奪った。型にはまらない、どこからでも得点できるサッカーは、相手にとって驚異だろう。

道都大を相手に4-0で快勝した神奈川大は、初の全国大会初勝利で勢いを得た。4分にMF林田光佑(4年)がシュートを決めて先制。FW山腰泰博(4年)とで2点ずつを奪った。「このチームは今の4年生が1年の時に関東リーグに昇格した。全国初出場なので、その4年生を7人先発に起用した」と大森西三郎監督。シンプルな攻撃ながらシュート数は16本。相手には3本しか許さなかったのも、前線からの守備を指示したのが効いたからだろう。

準々決勝では、「守備からはいる」と大森監督。個々の能力が高い相手に対して、常に数的優位を保つために、コンパクトな状態を作り出したいところ。一方の流通経済大、中野監督は「簡単に勝てた時の気のゆるみが心配」と兜の緒を締める。「一つ歯車が狂うとガタガタとってしまう」という不安点に、神奈川大がつけ込めるか。

(文:読売新聞大阪運動部 河村 真司)

関西学生サッカー連盟公式 HP 当サイトでは関西学生サッカーの予定など関西学生サッカーの情報をふんだんに掲載しています。今大会の結果速報は *minimini* によるスポチャンリアルタイム速報で無料配信中！！

ミニスポ°チャンリアル速報 → <http://minimini.jp/sports/pc/index.html>

関西学生サッカー連盟 → <http://www.jufa-kansai.jp/> 是非ご覧ください！！

交通手段

※準決勝は下記の会場で試合が行われます。是非お越し下さい。

☆鶴見緑地競技場☆

・地下鉄長堀鶴見緑地線「鶴見緑地」駅下車→徒歩5分。

《関西学生サッカーファンクラブただいま会員募集中！！》

特典 1: 関西学連主催・主管大会の入場無料。

特典 2: 関西学連主催・主管大会のプログラム・チケットの送付。

特典 3: ファンクラブニュース、年10回程度発行。

会費: 入会金 無料 年会費 4000円

お申し込み: 下記の宛先に顔写真(2×3cm)2枚と年会費そして氏名・住所・年齢・電話番号・生年月日・職業・応援している大学・応援している選手ご記入の用紙を同封し現金書留にてお申し込み下さい。

〒550-0014 大阪市西区北堀江1-6-4 アビテ四ツ橋203

「関西学生サッカーファンクラブ 入会申し込み」係

お問い合わせ: 連盟事務所 06-6531-2030